

# 保護者会イベント

## 『おうちで出来る親子遊び』

～子どもの発達を踏まえて～

奈良県障害者総合支援センター  
作業療法士 蔭山 静加先生

保護者会イベントでは保護者の方が熱心に講演を聞かれ、土曜日開催ということもありお父様も参加されていました。保育士も保育担当以外の数名が参加させていただきました。乳幼児期の色々な感覚の発達について、実践を交えながら、また、映像を通して解りやすく教えて頂きました。敏感？鈍感？我が子はどのタイプ？保護者自身はどのタイプ？タイプを知ることでお子様との関わり方が柔軟になります。  
保護者会日よりでは、“参考になるお話をたくさん聞くことができ、とても素晴らしいひと時を過ごすことができました”など掲載されました。



「袋から○の形をとってください。」と言われ、躊躇しながら箱から選ばれていました。「形選び遊び」  
**触覚**を通して形の認識ができ文字の認識に繋がります。また、「コショコショ遊び」「おんぶ」「体にまとわりつく」「じゃれつき遊び」等触覚がしっかり入力できるｽｯｯ遊びです



「真似っこ遊び」  
「鏡に映るように真似して下さい」と言われ真似てみました。「みなさん上手にできています。」に笑顔になりました。大人も褒めて貰うと意欲がわきました。見た情報からイメージして真似る遊びは楽しくできます。



子どもたちの  
「楽しい!」「やりたい!」  
「できた!」を引き出すには.....  
①子どもの特徴を知る  
②自分自身(保護者)の特徴を知る  
③一緒に遊んで楽しむ

### 固有受容覚が育つと

力加減や動きのコントロールができるようになります。「フープをくぐってください。上から入ろうか下かにしようか？」判断してうまくくぐれました

- ・片方の腕を90度あげてから、目を閉じて反対側もあげてください。⇒更に30度あげてください。
- ・目を閉じて、両手の人差し指をピッタリ合わせてください。
- ・数人で並んだ後、当たらないように「前にならえ」をして下さい。



目をつぶり片方の腕を90度あげて・・・など全員でしました  
手足を自由に動かせるのは、**固有受容覚**のおかげです。運動の器用さがコミュニケーションに繋がります

### 前庭感覚

- ①平衡を保持(姿勢保持)
- ②空間における自分の位置(方向)
- ③眼球運動(目の手ぶれ補正機能)

「目をつぶり自分の名前を書いてください」ある程度書けるのは、日頃字を書くことで方向とかを覚えているのです。

### 前庭感覚

「目をつぶり、その場で2周回ってください。止まった時に元通りに止まれましたか？大幅にずれていたら方向音痴です」会場内で“笑い”が occurred

授業中にダラダラ・・・  
身体がフニャフニャ・・・  
姿勢保持にはこのあそび  
鬼ごっこ、しっぽとり  
友だちとぶつからないように走る遊び



### 子どもにとってのご褒美

子どもにとって褒められること  
最高のご褒美♡♡♡  
「身体」と「心」両方を褒めてあげましょう!!  
じゃれつき遊びは脳を鍛えます  
触れることで乳幼児期の上記の重要な感覚が育ちます。



蔭山先生から子育てのポイントを教えてくださいました